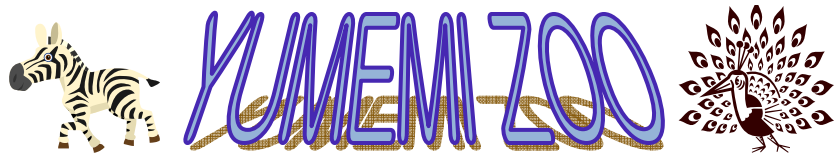


ゆめみにゅーす



季刊 VOL. 23
発行日 平成24年2月7日
発行責任者 夢見ヶ崎動物公園
問い合わせ 044-588-4030

飼育展示数 哺乳類:23種173点
鳥類:26種144点
爬虫類:11種50点
(平成24年1月末日現在)

こんにちは、アン

2011年12月12日、埼玉県こども動物自然公園から夢見ヶ崎動物公園に、1頭のレッサーパンダがやってきました。

名前はアン、2010年6月15日生まれの元気なメスです。実は、1992年に初めて夢見ヶ崎動物公園に中国からやってきたレッサーパンダ、センセンとヨウヨウの玄孫(やしやご)にあたります。

全身、特に顔が白い、「色白さん」です。
また、好奇心が旺盛で、はじめて見るものに対してもあまり物怖じしません。



アンがやってくるのに合わせて新しく作って組み立てた木のやぐらにもよく登り、昼間はその上でお昼寝をしていることもしばしばです。

大変に元気がよく、あまりじっとしていないので写真を撮るのは少し根気がいるかもしれませんね。

新しく夢見の仲間となったアンを、ぜひ温かく見守ってください。

また、今月にはアンのお婿さん候補のオスもやってくる予定です。お楽しみに…。

第12回春の動物園まつりのお知らせ

平成24年3月18日(日) 10時~15時

★雨天中止

- ・動物リレーガイド
- ・野鳥クイズコーナー
- ・バックヤードツアー
- ・折り紙コーナー
- ・もぐもぐタイム
- ・竹とんぼ作り
- ・コンサートコーナー
- ・体験ゲーム「フラミンゴの休息」
- ・ふれあいコーナー
- …など

第4回飼育(しいく)の日のお知らせ

平成24年4月19日(木) 9時~15時

- ・ペンギン給餌タイム
- ・シマウマ清掃タイム
- ・動物病院見学
- ・調理場見学
- …など



★ピックアップ動物★

パラワンコクジャク

分類:鳥綱 キジ目 キジ科

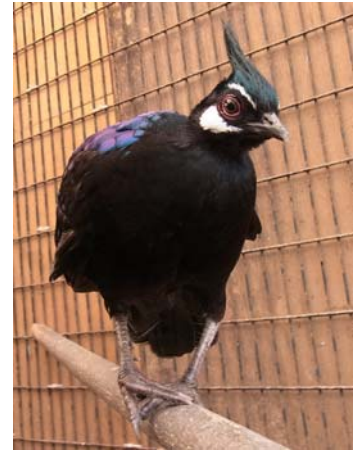


フィリピンのパラワン島の森林に生息する小型のクジャクです。野生では虫や木の実に食べます。オスは真っ赤なアイリングをはじめ派手な顔、黒い体に太陽光で青にも、緑にも、紫にも輝く羽と、美しい目玉模様の飾り羽をもちます。メスは全身が茶色っぽく地味ですが、よく見るとうっすら、目玉模様をちゃんと持っています。

オスがメスに求愛するときは、飾り羽をメスに向けて広げ、長い声を出しながらメスの周りをうろろします。このとき、長くておしゃれな頭の「冠羽」が、びしっと立つので、チャンスがあったらぜひお見逃しなく。

また、飼育担当者の顔や長靴の色を見分けて、気に入らない相手にだけ攻撃をすることもあります。

故郷パラワン島では生息数が減少しており、絶滅が危惧されています。



獣医の日記

日々、動物の病気やケガの治療をおこなう私たちですが、いつも元気になってくれるわけではなく、時には治らずに死んでしまう動物もいます。それは残念で悲しいことなのですが、私たちに最後には大事な仕事が待っています。



それは、動物の解剖です。解剖というと、なんとなく怖そうなイメージを持つ人もいるかもしれません。どうして、わざわざ解剖をするのだと思いますか？

野生動物は、具合が悪い時、周りにそのことがばれないようがんばります。敵に見つかったり、仲間に群れを追い出されたりするからです。だから、その動物が死ぬまで、「体のどこが悪かったのか」獣医や飼育担当者にはわからないこともあります。また、動物が死んでしまった理由を調べるだけでなく、普段の餌や飼いが適切だったかを確認する意味もあります。解剖は、そんな動物たちの「最後の健康診断」なのです。それだけではありません。解剖の結果、わかったことを今後の治療に生かしたり、病気の予防に役立てたりするというのも重要です。

すべて終わって、ようやく「ありがとう、お疲れさま」という気持ちになります。



★動物たちの主な移動(平成23年11月1日～平成24年1月31日)★

マーコール(♂2死亡、♀2死亡)、シセンレッサーパンダ(♀1BL)、ニホンキジ(♂2♀2繁殖)